

石本日仲聖人御返事

建治元年九月二〇日 五四歳

同時に二仏に亘るか、<sup>わた</sup>将又一方は<sup>はたまた</sup>妄語なるか、<sup>ちかごろ</sup>近来の念仏者天下を<sup>おうわく</sup>誑惑するか、早々御  
存知有るべきか。<sup>そもそもしゆんめ</sup>抑 駿馬一疋<sup>びきおく</sup>追遣らるゝ事存外の次第か。<sup>げんざん</sup>事々見参の時を期す。恐  
々謹言。

九月二十日

日 蓮 花 押

石本日仲聖人御返事

此の間の学問只此の事なり。又真言師等、奏聞を経るの由風聞せしむ。